

まちづくり懇談会開催

今年のまちづくり懇談会は、11月4日から11日まで町内5か所で開催されました。まちづくり懇談会では、町政に関する説明と町民との意見交換が行われました。



鈴川基幹集落センター

行政報告

可燃ごみ固形燃料化に伴う収集方法の変更

羊蹄山麓7町村の広域で処理している燃やせるごみの固形燃料化施設の本格稼働が平成27年3月から始まる。12月から施設の試運転を行うにあたり、燃料化に不向きな衛生ごみ(紙おむつ、生理用品、ペットシートなど)の分別を12月1日からお願いしたい。(くわしくは広報11月号7ページをご覧ください)

多面的機能支払交付金

近年、農村地域の過疎化や高齢化に伴い、農用地、水路、農道等を担い手の農家だけで守っていくのが困難になっている。このことから国が地域の共同活動に係る支援を行うため、多面的機能支払交付金制度ができた。農業者や周辺住民等で活動組織をつくり、町と協定を結んで行う活動に対して交付金が支払われる。地域で活用したい、話を聞きたいという要望があれば、出



留産地区管理棟

町民からの質問・意見

質問 総合住民健診を受診していない人に対して、どのような指導をしているのか？

回答 受診していない人に対して保健師等が直接受診のお願いをしています。まだ健診されていない方々がおられますので個人、団体の皆様にご協力いただき、引き続き受診率増加に向けて努力していきます。

質問 廃プラスチックと燃やせるごみを混合して固形燃料化するという話だが、燃やせるごみに廃プラスチックを混ぜても問題ないのか？

回答 廃プラスチックと燃やせるごみの混合



農村環境改善センター

割合で固形燃料の燃焼効率が変わってしまうので、従来どおり分別してください。

質問 旧中学校の解体と跡地利用について町の考えを聞きたい。

回答 校舎を解体すると約1億円の費用がかかります。国の交付金やデータセンターなどの企業誘致、アパートなども検討しましたが難しい状況です。議会と相談し、壊すことになれば町民の憩いの場所や防災の拠点、ヘリポートとして整備できないかを道と協議しているところです。



ふれあい福祉センター

質問 多面的機能支払交付金の組織は、全町でひとつの組織としては？

回答 全町で取り組むには多くの農業者の同意と協力が必要であり、そのみ

向いて詳細を説明させていただく。

町の健康増進計画策定

町では、町民が心身ともに健康で豊かな人生をおくるための健康増進計画の策定を進めている。現在、計画策定のため、職員が町内の各団体や地域を訪問し、意見を伺っている。町民の皆様と一緒に作ることが大事であるので、ご協力をお願いしたい。

全国学力・学習状況調査の概要

平成26年度の全国学力・学習状況調査は、小学校6年生、中学校3年生を対象に行われた。本町の小学6年生は、算数の「知識」が、中学3年生は、国語と数学の全ての面で、北海道・全国平均を上回っている。正答率の高い児童生徒は、基本的な生活習慣が身につけている。この結果をふまえ、家庭との連携による家庭学習習慣の定着を進めていきたい。

なさんが組織に入る必要があります。そのためには多くの日数をかける必要があります。すぐには全町での組織の設立は難しい状況です。まずは、各地域で組織を立ち上げ、最終的に全町での取り組みにつながればと考えています。

質問 学力・学習状況調査の中で学校と家庭、地域との連携が大切とあったが、地域の人はどのように協力していけばいいの？

回答 子どもと地域とのつながりが昔に比べ希薄になってきている中で、地域の方々が学校や地域で、身に付けた技術や経験を伝えながら、児童生徒と交流を持つ活動が大切となっており、そのような活動に対して地域の方々のご協力を頂けたらと思っています。



双葉克雪管理センター